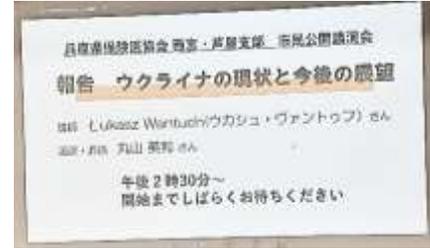


「ウクライナの現状と今後の課題」の講演を聞いて（竹の台 島田）

講師 ポーランド人の市会議員・ボランティア ウカシュ・ヴァントゥフ氏

ロシアのウクライナ侵攻（2022年2月22日）から4年経過するが、今なお、戦争が続いている。誰もが停戦とロシアの撤退を願っている。丁度、2月21日、兵庫県保険医協会主催の講演会があったので参加した。参加者は60人程だった。



講師はポーランド人で、以前は300人程のIT企業を経営していた。2016年に、政治に興味を持ち、市会議員となり、ボランティア活動も行っている方。

講義内容は、ロシアのウクライナ侵略によって、被害を受けた人たちに支援物資を直接手渡す活動を100回以上続けており、その時の様子を説明してくれた。



ウクライナの男は戦争に行って、村には女性と子どもしかいない。どの村でも、その入口には墓標が建てられており、共同墓地は新しい死者でいっぱいとなっている。首都キーウにはロシアの侵略によって殺された500人の死体の山があった。街中の公営住宅がミサイル攻撃で真っ二つに割れているなどなど。（休憩時には、ウクライナから持ってきたお菓子を参加者に配ってくれた。）



後半は、「戦争への問いかけ」であった。

「ウクライナが戦争に負けている」のは、両国の物理的な格差だけでなく、戦争による希望の喪失、社会の疲労・憂鬱、世界の無関心、EUからの支援削減などがある。これまでロシアから虐げられた100年に及ぶ戦争の中で、今回の悲惨さはかつてないもの。ロシアのこの戦争目的は、ウクライナの全領土化。

「戦後のウクライナはどうなるのか？」

戦争は恐ろしいが、戦後の「平和」はもっと恐ろしくなる。PTSDをかかえる数十万人の兵士と戦争障害者の社会復帰は？、インフラの崩壊により経済再建は可能か？。最貧国が一層最貧国に。ロシアの圧力で独立が認められない。「私たちの犠牲が無駄だった」との失望感。ウクライナを訪問して現実を見て欲しい。ポーランド人の私にできることは人道支援だけ！

以上の報告を終え、質疑となった。

参加者から「人道支援は必要だが、各国の軍事支援によって、戦争を継続させる悪循環になっていないか。もっと国連や国際世論へのシフトにならないか」等の意見がだされた。

ところが、これらの意見に対して、参加していたウクライナ人のポウダン氏(日本在住)から、ショックな発言があった。

・・・ 武器がないと殺される。本当の支援は「軍事支援」。子どもに必要なのは父親。父親が死なないために、子どもは食べ物よりドローンを買いたい。いつか中国が日本を攻撃することを想像してください。中国人も平和を望んでいるので、東京をくれたら撤退すると言ったらどうするか。私は、敗けるより、戦争で死んだ方がいい。どうやって止めるか方法はない。ウクライナ人として「ロシアがない」ことが勝利・・・

通訳の丸山美和さんから、「ウクライナでは憲法9条のような法律はなく、常にロシアとの戦いの歴史の中にいるので、平和への価値観が違う」との補足があった。

(ウカシュさんと丸山さん)



ウクライナ人の発言を聴いて、会場はいたたまれない雰囲気は一変した。

一旦戦争が始まれば、終えることは難しい。この戦争を通じて多くの人命が失われ、国土が疲弊し、再建の道が困難であることを実感した。新聞報道でも、人口4,100万のウクライナでは、死者が市民1.5万人、兵士10万人(推定)、負傷者4万人、子どもの誘拐が2万人(人間の盾)と国外避難民590万人となっている(私の住む竹の台にも来られている)。今回の話を聞く中で、4年前のロシアの侵略に対し、「ウクライナのNATO加盟への動きが原因」として、ロシアの侵略を容認する声があったことが思いだされた。どのような理由があろうとも、日本国憲法9条は、「武力の行使は国際紛争を解決する手段として永久に放棄する」。国連憲章2条は、「加盟国はその国際紛争を平和的手段によって国際の平和及び安全並びに正義を危くしないように解決しなければならない」とある。にもかかわらず、国際社会が、第二次世界大戦後に築き上げてきた国際秩序を破壊する行為を止められなかった事は、その後のイスラエルのガザ侵攻やトランプによる「力による支配」を許すことになった。このガザやウクライナの解決はあくまでも国連憲章、国際法、国連決議に基づく公正な和平がなされるべきと考える。

一方、日本では、自民党単独で2/3の議席を占めた高市政権が、トランプの「力による支配」に追随し、日本全土のミサイル基地化を進めている。「戦争する国」にするには、憲法9条が足かせとなっているため、この憲法9条変更を高市政権は執念を燃やしている。軍事費GDP比5%の目標では37万円/人の負担である。これでは国民生活と日本経済は破綻してしまう。日本国にはアジアへの侵略戦争の反省で生まれた平和憲法がある。憲法9条があったからこそ80年間、戦争をしなかった。また、唯一被爆国として、世界に平和を発信する責務がある。高市政権の9条改悪の執念を超える私たちの平和主義への執念で、憲法9条の役割をもっと周りの方に理解してもらえよう「あきらめず」に頑張る必要があると感じる。以上